

Houfukuji Temple

 ほうふくじ
 宝福寺

田下閉伊郡田野畑村149-1

☎0194-33-3057

 歴史
 (成り立ち)

田野畑村は、明治の大津波に次いで、昭和8年(1933)三陸大津波によって大きな被害を受けた。当時、大阪府高槻市の道場にて修行に励んでいた對山祖考和尚(青森県八戸市出身)は、「医者も和尚もない村」という見出しの津波の惨状を伝える新聞記事を読み、田野畑の地に大津波の犠牲者を供養する寺を立てようと決心した。和尚は、昭和9年に田野畑村へ移り、建立の呼びかけを始めた。宝福寺の縁起はその昔、岩手県胆沢郡佐倉河村(現在の奥州市)にあったが、ある時火災に遭い、再建されずに放置されていた。その宝福寺を移転・再興するという形で、昭和15年(1940)、多くの村民の協力のもと、田野畑村に新しく「宝福寺」が建立された。

 震災に
 まつわる物語

東日本大震災当日、長く大きな揺れが続きはしたが、停電以外には寺院周辺に特に大きな被害はなかった。しかし、海岸付近の集落の被害は甚大で、宝福寺を菩提寺とするあまたの村人が被災。家財を奪われ、尊い命が失われた。

現在の住職は對山和尚の孫岩見具行師。生涯、津波の被災者の供養を続けた祖父の遺志を継いだ父が死去し、平成21年秋宝福寺に。震災時は「できることからやろう」と連日、遺体の火葬前に読経し、被災者を励まし続けた。宝福寺の本堂には、震災により亡くなられた人々の供養のため、また津波の恐ろしさを忘れぬようにと、「津波地蔵」が安置されている。この地蔵は、岩手県久慈市に伝わる小久慈焼きの窯元が田野畑の土を用い、約1年をかけて制作、奉納された。津波地蔵の蓮華台座の下には、被災された人たちの家の土が納めてある。それぞれの思い出を偲び、心癒してほしいという願いが込められている。



昭和・平成と大津波の犠牲者を供養する宝福寺

TOPICS

見る ① 鶺鴒の巣断崖

北山崎とならぶ田野畑村を代表する三陸の景勝地。高さ200mの断崖が4kmに渡って続く。弧を描く断崖が5連に連なる様は圧巻。崖の中腹にウミウの営巣地があることから名が付いた。展望台へ続く森の中のウッドチップの道が気持ちよく、歩道沿いには作家 吉村昭の文学碑等もあり、旅情を味わえる。みちのく潮風トレイルのルートから浜辺へ降りられる。



☎ 下閉伊郡田野畑村真木沢 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所)
 📍 60台

食べる ② 浜茶や食堂

田野畑村の漁師家族が営む食堂。店は津波で被災し、仮設店舗で営業しているが、味は震災以前と変わらない。ご主人が獲ってきた新鮮な海産物を奥様が調理して提供してくれる本物の地元の味が魅力。新鮮なお刺身定食等はもちろん、「かつ丼」や「磯物ラーメン」も人気メニュー。



☎ 下閉伊郡田野畑村菅窪 205-4 0194-34-2295
 📍 30台 図 11:00 ~ 21:00 図 不定休

食べる ④ ロレオール田野畑

海を見下ろす絶景の地に立つフレンチレストラン。完全予約制。シェフ伊藤勝康氏が、地元食材をふんだんに使って提供する本格派コース料理。それでいてディナーが3,500円〜、ランチが1,300円〜と値段設定もうれしい。



☎ 下閉伊郡田野畑村明戸 309-5 080-9014-9000 📍 10台
 図 事前予約制 12:00 ~ 14:00 (LO) 18:00 ~ 20:00 (LO)

見る ③ 田野畑村民俗資料館

国内最大級といわれ、義民が結束し藩政から約束を勝ち取った『三閉伊一揆』についての資料を中心に収蔵する全国でも珍しい資料館。入口付近には、一揆と村人の情熱を表す炎のモニュメントが配されている。また村内の遺跡から出土した土器や土偶等も展示している。入館記念に三閉伊一揆の旗印「小○」のミニフラッグがもらえる。



☎ 下閉伊郡田野畑村田野畑 128-9 0194-33-2210 📍 20台 図 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで) 図 月曜(休日の場合はその翌日) 祝日の翌日 年末年始 図 大人1名300円 高校・学生200円 小・中学生150円



見る (Green circle)
 食べる (Orange circle)
 遊ぶ (Red circle)
 泊まる (Purple circle)
 コースA (Red dotted line)
 みちのく潮風トレイル (Purple line)
 500m

見る ⑤ 思案坂・真木沢橋

昔、ある役人が田野畑村に赴任する際、この深い谷につきあたり、この谷を越えてまで田野畑村に赴任するべきか否か思案したことから坂の名前が付いた。今は国道45号に真木沢橋がかかり、谷を下りてまた登る必要はなくなった。展望所からは、その谷の深さをゆっくりと見学できる。



☎ 下閉伊郡田野畑村真木沢 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) 📍 20台

見る ⑥ 辞職坂・思惟大橋

田野畑村に赴任するある役人が「思案坂」を超えてようやく進んだところ、再び深い谷に出くわし辞職を決意したこと付いた坂の名前。現在は国道45号に思惟大橋がかかり、橋のためには「道の駅たのはた」ができ、快適な休憩スポットになっている。



☎ 下閉伊郡田野畑村菅窪 2337 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) 📍 100台 (道の駅たのはた利用)

DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

泊

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション
7	あけと 明戸 キャンプ場	津波の被災から平成27年にリニューアルオープン。オートキャンプサイト8区画、フリーテントサイトが約100張分	下閉伊郡田野畑村明戸 157-3 ☎0194-33-2816 [P]25台 受付9:00～17:00 11月中旬～4月中旬(営業期間内は無休) オートキャンプサイト料 1区画1回当り 3,000円/フリーテントサイト料 1張1回当り500円/入場料(宿泊)1名1泊当り300円/入場料(日帰り)1人1回当り150円/ファイヤーサークル料1区画1回当り1,000円



遊

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション
8	みち 道の駅たのはた	国道45号沿いの道の駅。広い芝生の公園があり、ドライブ休憩に最適	下閉伊郡田野畑村菅窪 223-7 ☎0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) [P]100台
9	たのはた 田野畑村マレット ゴルフ場	ゲートボールに似たスティックとボールを使うマレットゴルフ専用のコース。100mのロングコースや難易度の高い林間コースなどプレイヤーを飽きさせない	下閉伊郡田野畑村明戸 158 ☎0194-33-2816 [P]25台 9:00～18:00(日没による短縮あり) 無休(病害虫駆除の薬剤散布時は閉鎖) [Y]1日券一般500円 65歳以上400円 高校生以下200円/その他、回数券・半日券・シーズン券あり

食

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション
10	ラーメン風風	カウンターとテーブル席2つのアットホームなラーメン店。地元の人たちのおススメはマーボーメンとチャーハン	下閉伊郡田野畑村和野 260-8 ☎0194-34-2247 [P]30台 11:00～20:30 無休 水曜
11	たのはた 田野畑レディース 虹の橋	道の駅で地元のお母さんたちが手作りの軽食を提供。豆腐田楽や「ひゅうず」と呼ばれる郷土料理が楽しめる	下閉伊郡田野畑村菅窪 223-7 道の駅たのはた内 ☎0194-34-2860 [P]100台 8:00～17:00 11月～3月 無休
12	産直プラザ 思惟大橋	山の幸・海の幸が豊富に並び、秋には松茸を求めて、遠方からも多数の客が訪れる	下閉伊郡田野畑村菅窪 223-7 道の駅たのはた内 ☎0194-34-2006 [P]100台 9:00～18:00(冬期～17:30) 無休
13	産直プラザ 尾肝要	地元野菜や「ひゅうず」、菓子などが並ぶ。隣接する食堂では牛乳を使った一風変わったラーメンが人気	下閉伊郡田野畑村尾肝要 39-1-1 ☎0194-34-2003 [P]35台 9:00～18:00(冬期～17:30) 11月～3月 無休

人

人名	ひとこと コメント
西塔幸子	1900～1936年。女啄木といわれた歌人。凶作の時代にその生涯を僻地教育に捧げるかたわら、哀切を込めて千点以上の歌を詠んだ。田野畑村の沼袋尋常小学校で教鞭をとり、歌人でもあった昭和8年三陸大津波の際には、地元新聞社若手日報にその惨状を訴え、県民からの共感を呼び復興に寄与した

田野畑っ子 ご推せん

田野畑村中心部を通る国道45号沿いに行く。スタート地点の宝福寺と、すぐ近くの民俗資料館で田野畑村の歴史を知り、「道の駅たのはた」では産直や豆腐田楽「ひゅうず」を楽しんだ後、思案坂・辞職坂の言い伝えも納得の険しい山峡を覗き込もう。

ウォーキング コース

コース A	宝福寺(巡礼地) — 0.4km・5分 — 田野畑村民俗資料館 — 3.4km・45分 — 道の駅たのはた — 0.2km・5分 — 辞職坂・思惟大橋 — 4.7km・70分 — 思案坂・真木沢橋	
-------	--	--